

追手門学院大学
地域スポーツ人材育成コンソーシアム
設立趣意書

スポーツは、現代社会においては世界共通の文化となっており、人々の健康志向やメガイベントに対する熱狂、スポーツビジネス市場の拡大などを背景にして、共生社会・健康長寿社会の実現、社会経済への貢献、政治的機能の遂行、地域社会の活性化、ダイバーシティの推進といったさまざまな社会的機能や役割が求められるようになってきました。このことは、社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを意味しており、国は 2010 年に新たなスポーツ文化の確立を目指した「スポーツ立国戦略」を策定し、人材育成に戦略的に取り組むことを打ち出しました。2011 年にはスポーツ基本法が施行され、第 I 期及び第 II 期スポーツ基本計画によって、さまざまな政策が推進されています。大阪府や本学が立地する茨木市においてもスポーツ推進計画が策定され、「1 億総スポーツ社会」の実現に向けた取り組みが、国を挙げて進められています。

本学においても 2014 年から全学部横断型の「スポーツキャリアコース」を設け、幅広いスポーツ分野で活躍できる人材を育成してきました。同時に、大学のスポーツ人材を活かしつつ、地域に根ざした健全なスポーツ文化の育成を基本理念とした「スポーツ研究センター」を設置し、スポーツ教育、地域スポーツ、生涯スポーツ、スポーツボランティア、スポーツマネジメントなどについての調査・研究を行うとともに、地域と連携したスポーツ活動、地域住民へのスポーツ指導、健康・体力向上支援などの活動を行ってきました。2016 年には社会学部に「スポーツ・健康プログラム」を設け、スポーツを「する」「みる」「ささえる」人材の育成に全学をあげて取り組んでいます。

このような実績をもとに本学は、2020 年 4 月に新学科の開設を計画することにしました。今日のスポーツは社会的側面の飛躍的な拡大、社会的意義の増大によって、現代社会を読み解く重要な領域の一つとなっています。社会学の視点からスポーツの意義や役割を実践的・体験的に学び、現代社会や地域の課題解決に取り組むことのできる「社会学の知見を有するスポーツ人材」の育成が必要であるとの考え方のもとに、新学科は社会学部に置き、**スポーツ文化学科**（仮称）とする予定です。

そしてこの新学科の設置を、より意義あるものとするため、本学の主催による**スポーツ人材育成コンソーシアム**の設立を企図しました。さまざまな企業・団体、教育機関、官公庁等の皆さまにご参加いただき、スポーツ人材の育成に大学教育が果たすべき役割、各企業・団体等が求める人材の資質や能力、必要な知識・スキルなどについて、ご意見をお聞きしたいと考えています。将来的にはスポーツ人材養成のオープンイノベーション・プラットフォーム作りを目指したいと思いますが、当面は参加者間の情報交換や交流を中心に、連携を深めていきたいと考えています。皆さまのご理解、ご協力を賜り、積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

追手門学院大学
スポーツ研究センター所長 **辰本頼弘**